

終焉期の国電形木造車両

金子元昭



終焉期の国電形木造車両

モニ 13016 号車他 1953 年 3 月 27 日 品川

今年は鉄道友の会発足 60 周年を迎えるが、発足の年 1953 (昭和 28) 年は国電の大きな節目の年でもあった。

同年の 6 月 1 日には国電の車両称号規程の改正 (俗称「改番」) が実施され、それまで親しまれてきた形式が一変してしまった。

また、車種では木造車両が殆ど無くなり、この時に新しい車号を得た車両は 34 両にすぎず、しかもその総てが事業用車両になってしまった。

次頁にその形式別一覧を纏めてみた。

今回はその前年から自分のカメラを持ち、電車を写し始めていた私が撮影した木造車両の写真とともに当時の様子を回顧してみる。

1953年6月の車番改正時に番号が与えられた国電形木造車両(34両)一覧表

旧形式	新形式	両数	この後の経緯等
モハ 1	モハ 2400	2	53年廃車、西武鉄道へ
モニ 12	モニ 3420	2	53年鋼体化；新モニ13形へ
モユニ 12	モユニ 3400	1	53年鋼体化；新モニ13形へ
モニ 13	モニ 3410	9	53年2両鋼体化；新モニ13形へ 他車は下記を除き59年迄に廃車。 モニ13009→モニ3413→クモエ4300 63年廃車
モヤ 11	モヤ 4000	1	59年廃車
モヤ 11	モル 4100	7	63年迄に廃車
クヤ 5	クル 9200	1	59年廃車
クハ 6	クエ 9100	1	65年廃車
クハ 15	クヤ 9000	1	59年廃車
クハ 15	クエ 9110	3	77年迄に廃車
クヤ 16	クヤ 9010	1	55年廃車
クハ 17	クエ 9120	1	63年廃車
サハ 19	サエ 9300	2	55年廃車、西武鉄道へ
サハ 25	サエ 9310	2	58年迄に廃車、一両西武鉄道へ



モハ2400号車 1953年9月4日 大井工場
改番前はモハ1034号車。この撮影年内に廃車となった。



モニ 1 3 0 0 7 号車 1953 年 5 月 16 日 大井工場
改番後はモニ 3 4 1 2 号車。車体には新旧両車号が書かれている。



モニ 3 4 1 0 号車 1956 年 4 月 13 日 豊川分工場
この形式の改番後のトップナンバーで、改番前はモニ 1 3 0 0 2 号車。



モニ 3 4 1 3 号車 1955 年 3 月 13 日 田町電車区
改番前はモニ 1 3 0 0 9 号車。



クモエ 4 3 0 0 号車 1961 年 6 月 2 日 田町電車区
上と同じ車両。1959 年の改番でこの車号に。60 年代まで残った数少ない一両。



モヤ4000号車 1955年9月6日 大船工場
改番前はモヤ11001号車。教習用車両のため他車と形式が分けられた。



モヤ11006号車 1953年5月16日 大井工場
モヤ11002号車以降は配給車。この車両は改番後モル4104号車に。



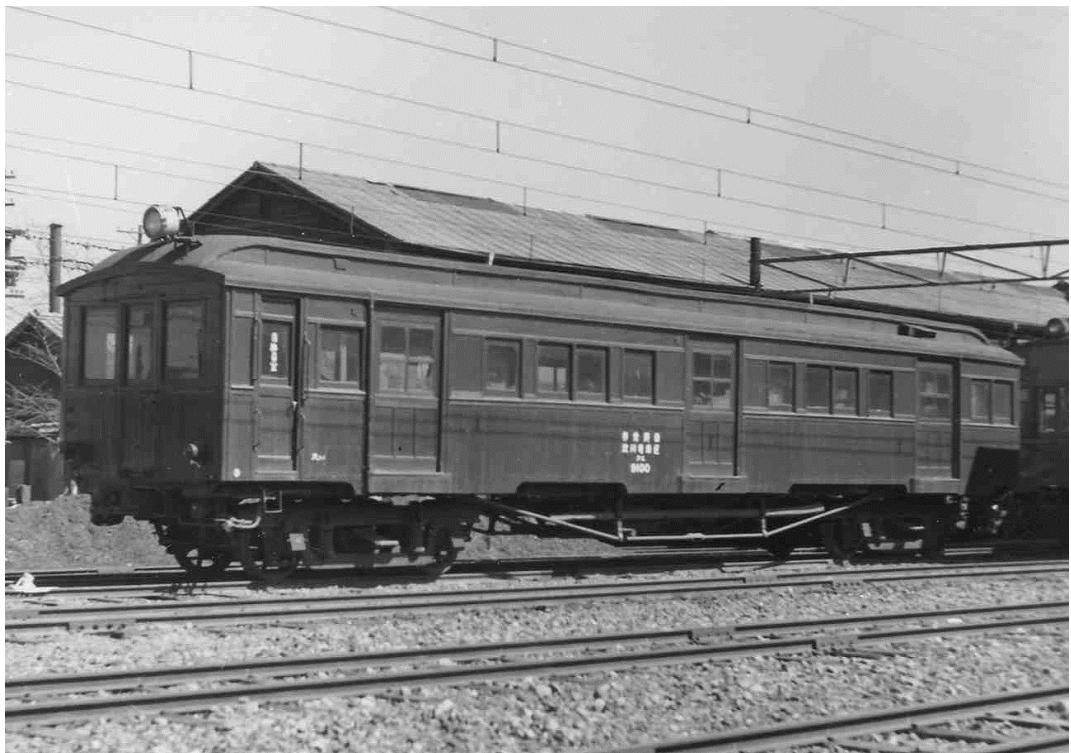
クル９２００号車 １９５４年１月５日 大井工場
改番前はクヤ５００１号車



クヤ９０１０号車 １９５４年１０月２０日 大井工場
改番前はクヤ１６００１号車、試験車として誕生した車両。



クヤ9000号車 1955年9月6日 大船工場
改番前はクハ15012号車。



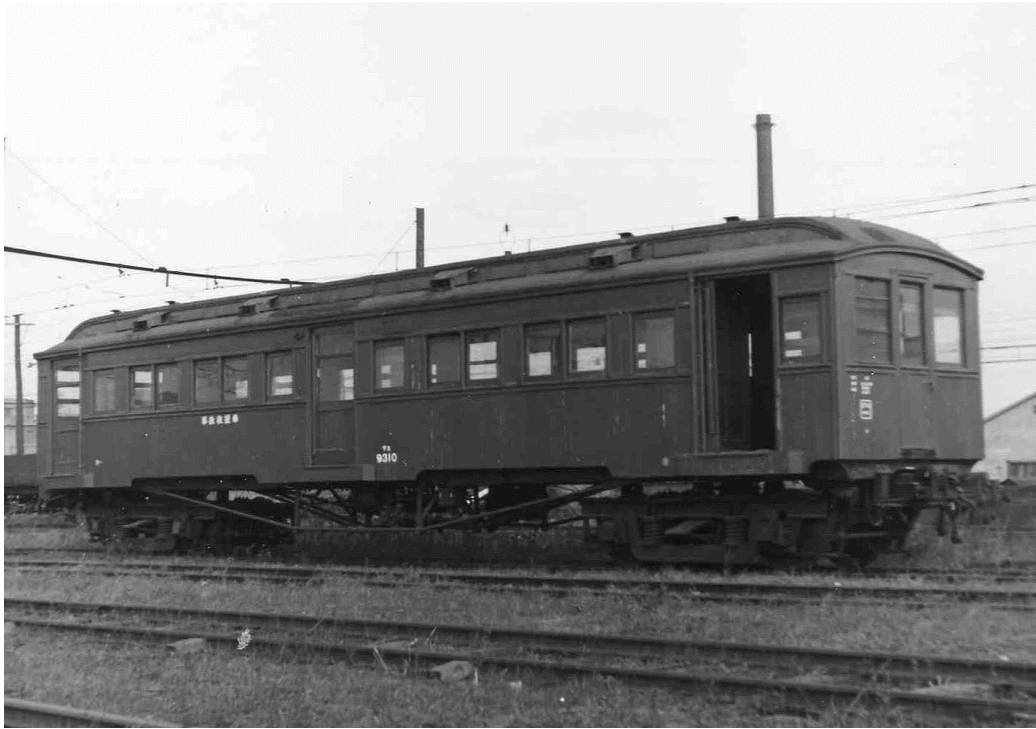
クエ9100号車 1956年3月4日 淀川電車区
改番前はクハ6008号車。



クエ9112号車 1956年1月5日 中野電車区
改番前はクハ15048号車。国電形木造車両で最も遅くまで現役でいた。



サハ19047号車 1953年5月16日 大井工場
改番後はサエ9301号車。



サエ 9310号車 1954年1月5日 大井工場
改番前はサハ 25019号車。



西武鉄道サハ 2006号車 1953年12月22日 保谷電車区
1950年代初め、国鉄ハ 25形の譲渡を受け、ハ 2001形として使用していた。